

これまでの歩み～10 年間、あの日 あの時～

合併後10年間の軌跡を、写真とともに振り返ります。

年号	年	月	主な出来事
平成	18	7	高照神社が国の重要文化財に指定
		9	「弘前市と弘前大学の連携に関する協定書」に調印、締結
		11	新市章・市の花・木を制定 北海道斜里町、群馬県太田市と友好都市提携盟約を締結 千年交流センターオープン
		19	11 北辰学区高杉ふれあいセンターオープン 12 戸籍事務電算化始まる
平成	20	1	まちづくりの指針となる、弘前市総合計画を策定
		5	三省地区交流センターオープン
		7	趣のある建物 22 件を指定
		9	齋藤春香さんに市民栄誉賞
平成	21	11	合併後の新たな顕彰制度（ゴールド卍賞）を創設
		10	弘前自動車運転免許試験場運用開始
		22	2 弘前市歴史的風致維持向上計画が国の認定を受ける
		7	弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター稼働
平成	23	8	新西部学校給食センター稼働により、中学校への給食開始 川口淳一郎さんに市民栄誉賞
		10	市長マニフェストに基づく実行計画となる、弘前市アクションプラン 2010 策定
		1	弘前城が築城 400 年を迎える
		3	東日本大震災発生
平成	24	6	「市民参加型まちづくり 1%システム」スタート 「猪形土製品」が国の重要文化財に指定
		12	たか丸くんが弘前市のマスコットキャラクターに就任
		7	榑木・鬼沢地区にて竜巻発生、住宅やりんご園に甚大な被害 市民課総合窓口オープン
		9	大森勝山遺跡が国の史跡に指定
平成	25	2	観測史上最高となる 153cm の最深積雪を記録。りんご園を中心に甚大な雪害発生
		3	相馬庁舎リニューアルオープン
		7	ヒロロオープン 同ビル内にヒロロスクエアオープン 三浦雄一郎さんに市民栄誉賞 消防広域化により、消防本部（弘前・黒石・平川・板柳）が統合
		9	台風 18 号の接近に伴い甚大な浸水被害が発生
平成	26	11	岩木庁舎耐震補強工事着工
		1	市民会館リニューアルオープン
		5	りんご公園内に「弘前シードル工房 kimori」オープン 人口減少対策を重点プロジェクトとした、弘前市経営計画策定
		8	弘前ねぶたまつりで死亡事故発生
平成	27	11	市民会館に佐野ぬいさんの原画によるステンドグラスを設置 弘前城本丸石垣修理に伴う内濠埋め立て工事開始
		2	佐野ぬいさんが市町村合併後初の名誉市民に
		3	弘前市協働によるまちづくり基本条例制定 弘前市議会基本条例制定
		4	弘前さくらまつりで内濠開放 泉野多目的コミュニティ施設オープン 弘前市運動公園リニューアル
平成	28	5	相馬地区地域おこし協力隊員活動開始
		9	原動機付自転車用オリジナルナンバープレート交付開始 弘前城天守曳屋体験（曳屋ウィーク）開催
		10	高機能消防指令センター運用開始
		1	HIROSAKI DESIGN WEEK（弘前デザインウィーク）始動



たか丸くんが市のマスコットキャラクターに就任



猪形土製品が国の重要文化財に指定

十腰内（2）遺跡の発掘調査で出土された約 4,000 年前（縄文時代後期）の猪形土製品。イメージキャラクター「いのっち」が、市立博物館のマスコットとして活躍しています。



高照神社が国の重要文化財に指定

津軽信政を祭る高照神社の建造物 8 棟 2 基が国の重要文化財に指定されました。指定を記念したシンポジウムでは、地元高岡地区からも喜びの声があげられました。



齋藤春香さんに市民栄誉賞

北京五輪ソフトボールで監督として日本チームを金メダルに導いた偉業をたたえました。日本スポーツ史に残る栄冠を獲得し、日本中に大きな感動と興奮を与えました。



新西部学校給食センター稼働

平成 20 年から建設を始めていたセンターの稼働により、市内の 12 の中学校でも新たに完全給食を開始。現在、市内 20 の小学校、15 の中学校の子どもたちに給食を届けています。



川口淳一郎さんに市民栄誉賞

小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクリーダーとして、小惑星「イトカワ」から 7 年の歳月を経て帰還させるという世界初の快挙を達成。その功績をたたえました。



弘前城築城 400 年祭

「私四百 恋へよ津軽」のキャッチフレーズのもと、オープニングセレモニー（1 月）や記念式典（5 月）、弘前城薪能（6 月）など多彩なイベント等で、節目となる 1 年を盛り上げました。



大森勝山遺跡が国の史跡に指定

希少な縄文時代晩期の環状列石を有する遺跡として、国史跡に指定されました。12 月には世界文化遺産を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産になりました。



相馬庁舎リニューアルオープン

「相馬総合支所」「中央公民館相馬館」「御所温泉」の 3 つの機能を持った複合施設としてオープン。「相馬やすらぎ館」の愛称で親しまれています。



ヒロロスクエアオープン

弘前駅前地区再開発ビル「HIORO（ヒロロ）」の 3・4 階にオープン。「子育て」「健康」「交流」「行政」の 4 つのエリアで構成され、市民のニーズに応えたサービスを提供しています。



三浦雄一郎さんに市民栄誉賞

世界最高齢の 80 歳でエベレスト登頂に成功した功績をたたえました。けがや病気を乗り越え成し遂げた前人未踏の快挙は、多くの人に勇気と感動を与えました。



市民会館リニューアルオープン

開館から約 50 年を迎え、老朽化が進んだことなどから約 1 年をかけて改修。前川建築という文化的価値を後世に引き継ぎ、現代の利用者ニーズも取り入れてリニューアルしました。



佐野ぬいさん、名誉市民に

「佐野ぬいブルー」と呼ばれる青を基調とした洋画家としての功績をたたえ、市町村合併後初めての名誉市民に。7 月には、本人の原画によるステンドグラス「青の時間」が設置されている市民会館で記念式典が行われました。



弘前城天守曳屋ウィーク

弘前城本丸石垣修理に伴う天守曳屋体験イベント。市民や観光客らが天守を載せた作業台に取り付けたロープを引っ張り、8 日間の期間中、3,901 人の力で約 5.3 m お城を移動させました。